

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所の累計発電電力量 8,000 億キロワット時の達成について

平成 19 年 1 月 23 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所(総出力 821 万 2 千キロワット)は、昭和 60 年 2 月 13 日に 1 号機が試運転による発電を開始してから今年で 22 年目を迎えますが、本日午前 8 時頃、当所の累計発電電力量が 8,000 億キロワット時<sup>\*1</sup>に達しました。

このたび達成した累計発電電力量 8,000 億キロワット時は、原油に換算すると日本全体の年間原油輸入量<sup>\*2</sup>の約 8 割にあたる約 1 億 8,800 万キロリットル<sup>\*3</sup>に相当し、貴重なエネルギー資源である石油の消費を抑制したことになります。

また、この発電電力量をすべて石油火力により発電した場合と比べると、約 5 億 7,600 万トンの CO<sub>2</sub> の排出を抑制したことになり、これは、日本全体の年間 CO<sub>2</sub> 排出量<sup>\*4</sup>の 5 割弱に相当する量です。

今後とも、地域の皆さまからの信頼と安全確保を最優先に、原子力発電所を運転してまいります。

以上

\* 1 : キロワット時

ある一定時間の電力量を示す単位。

(例) ヘア・ドライヤー(出力 1,200 ワット)を 1 時間連続で使った場合の電力消費量は、1.2 キロワット時。

\* 2 : 日本全体の年間原油輸入量

日本全体の年間原油輸入量は、平成 17 年度実績で約 2 億 4,901 万キロリットル。

\* 3 : 約 1 億 8,800 万キロリットル

ドラム缶(200 リットル)約 9 億 4,000 万本分の原油に相当し、積み重ねると地球の円周(約 4 万キロメートル)の約 21 倍に相当する量。

\* 4 : 日本全体の年間 CO<sub>2</sub> 排出量

平成 15 年度実績で約 12 億 5,940 万トン。

<参考>

(1)累計8,000億kWh到達までの経緯

- ・ 1号機試運転開始 昭和60年 2月13日
- ・ 1,000億kWh到達 平成 4年10月15日
- ・ 2,000億kWh到達 平成 7年 9月 2日
- ・ 3,000億kWh到達 平成 9年 8月25日
- ・ 4,000億kWh到達 平成11年 4月13日
- ・ 5,000億kWh到達 平成12年11月21日
- ・ 6,000億kWh到達 平成14年 7月30日
- ・ 7,000億kWh到達 平成17年 2月20日

(2)累計8,000億kWhのプラント別構成

- ・ 1号機 1,534億kWh (約19.2%)
- ・ 2号機 1,238億kWh (約15.5%)
- ・ 3号機 1,000億kWh (約12.5%)
- ・ 4号機 913億kWh (約11.4%)
- ・ 5号機 1,319億kWh (約16.5%)
- ・ 6号機 1,073億kWh (約13.4%)
- ・ 7号機 923億kWh (約11.5%)

